

# 2013年沖縄5・15平和行進

2013年5月16～20日にかけて、2013年沖縄平和行進にJR貨物労組青年部から16人（JR総連青年協議会全体で43名）が参加しました。

この沖縄平和行進は、沖縄が戦後1972年5月15日にアメリカの統治下から日本に返還された日に合わせて、基地の無い沖縄をつくるために全国から労働組合や平和団体、市民団体が集まり、沖縄本土を3コースに分かれて毎年行進しています。



5月18日に、私たち貨物労組青年部は南コース（平和祈念公園～南風原町公民館間18.6km）を行進しました。南コースは沖縄戦最大の激戦跡（沖縄戦の全戦没者15万人のうち南部戦線は10万人が亡くなっています）を辿るコースで、「沖縄に基地はいらない」「オスプレイ配備を許さないぞ」など声高らかに訴えました。

5月19日は、午前中にJR総連青年協議



会で全体交流会を行いました。交流会では、沖縄平和行進の中身についてや、7月に行われる参議院選挙について、また単組報告では各単組における取り組みについてなどが報告されました。貨物労組からは、会社による賃金削減について経緯と絶対



反対で闘っていく決意を発言しました。単組の間からは質問や連帯の言葉がありました。午後は移動し「5・15平和とくらしを守る県民大会」に参加しました。会場は強いコールに見舞われながらも、橋下維新の会共同代表による従軍慰安婦や米兵の沖縄の風俗利用の発言に沖縄県民の怒りが爆発した大会となりました。

20日は首里城にて第32軍司令部壕の見学と、沖縄の歴史について学習しました。4日間を通じて、実際に沖縄に行かなければ学べない事など非常に多くの事を学ぶことができました。

